

令和6年9月5日

学校関係者評価報告書(対象:令和5年度)

旭川荘厚生専門学院

学校関係者評価委員会

委員長 杉本 尚平

「令和5年度学校自己評価報告書」に対し、学校関係者評価を実施しましたので、概要を下記のとおり報告します。

記

1 開催日 令和6年7月18日(木) 10時から11時30分

2 場 所 旭川荘厚生専門学院会議室

3 外部委員

岡山県立瀬戸南高等学校	校 長 長谷川陽子	[高等学校関係者]
厚生専門学院後援会	会 長 岡崎 倫三	[元保護者代表]
ローバル国際こども園	副園長 江田 加代子	[元児童学科長・関連業界関係者]
旭川児童院	看護課長 大月 道子	[卒業生・関連業界関係者]
旭川敬老園	副園長 常国 修治	[卒業生・関連業界関係者]
みちる保育園	保育士 溝尾 早苗	[卒業生・関連業界関係者]

4 実施方法及び公表

「令和5年度学校自己評価」を外部委員が確認し、各項目に対する意見を述べてもらった。また、後日提出された書面評価表の意見を取りまとめた。評価結果は今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ上に公開する。

5 評価及び意見

評価項目に対する外部委員の評価及び意見、提案は、別添「書面評価表」のとおり。

非常に適切 :10～8

適 切 :7～6

やや不適切 :5～4

不適切 :3～1

学校自己評価(5年度実績)に対する書面評価表

(1)教育理念・目的

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.4	8.1	8.4	7.6	長谷川	8.0	8.1
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.3	7.4	8.1		岡崎	8.0	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	7.0	5.9	6.8		江田	9.0	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	7.3	5.6	6.9		大月	8.0	
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.1	7.3	7.9		常国	8.0	
					溝尾	7.5	
					計	48.5	

(2)学校運営

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.4	7.1	7.4	7.2	長谷川	8.0	7.6
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.5	7.1	7.4		岡崎	7.5	
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	7.3	6.9	7.2		江田	7.3	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.3	7.9	7.4		大月	7.0	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.3	7.0	7.2		常国	8.0	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.4	7.1	7.3		溝尾	8.0	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.6	7.1	7.5		計	45.8	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.6	5.9	6.4				

(3)教育活動

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.1	7.6	8.0	7.6	長谷川	8.0	7.8
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	8.1	7.4	8.0		岡崎	7.5	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.4	7.8	8.3		江田	8.0	
キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.8	7.1	7.6		大月	7.0	
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.8	7.1	7.7		常国	8.0	
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	8.0	7.3	7.9		溝尾	8.0	
授業評価の実施・評価体制はあるか	7.0	6.6	6.9		計	46.5	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	7.2	7.0	7.1				
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.4	7.3	8.2				
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.4	8.0	8.3				
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.7	7.3	7.6				
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	7.2	6.6	7.1				
先端的知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	6.9	6.3	6.8				
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.8	6.3	6.7				

(4)教育成果

評価項目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
就職率の向上が図られているか	8.5	9.0	8.6	7.5	長谷川	8.0	7.8
資格取得率の向上が図られているか	8.3	8.7	8.3		岡崎	8.0	
退学率の低減が図られているか	6.6	6.8	6.6		江田	7.8	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	6.9	7.3	6.9		大月	7.0	
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用されているか	6.9	6.3	6.8		常国	8.0	
					溝尾	8.0	
					計	46.8	

(5) 学生支援

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.1	8.8	8.3	7.6	長谷川	8.0	8.3
学生相談に関する体制は整備されているか	8.4	8.2	8.3		岡崎	8.0	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	8.0	8.3	8.1		江田	8.5	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	7.9	7.9	7.9		大月	7.0	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	7.2	6.3	7.0		常国	9.0	
学生の生活環境への支援は行われているか	7.3	7.0	7.2		溝尾	9.0	
保護者と適切に連携しているか	7.9	7.9	7.9		計	49.5	
卒業生への支援体制はあるか	7.4	7.3	7.4				
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	7.1	7.0	7.1				
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	6.8	6.7	6.8				

(6) 教育環境

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.0	7.4	6.3	6.9	長谷川	7.0	6.9
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	7.3	6.6	7.1		岡崎	6.5	
防災体制は整備されているか	7.0	7.9	7.1		江田	7.0	
					大月	6.0	
				常国	7.0		
				溝尾	8.0		
					計	41.5	

(7) 学生募集

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学生募集活動は、適正に行われているか	7.4	6.4	7.2	7.2	長谷川	8.0	7.6
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.2	6.8	7.1		岡崎	7.0	
学納金は妥当なものとなっているか	7.4	7.3	7.4		江田	7.5	
					大月	7.0	
					常国	8.0	
				溝尾	8.0		
				計	45.5		

(8) 財務

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4.4	5.0	4.5	6.0	長谷川	6.0	6.3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5.1	6.0	5.2		岡崎	5.5	
財務について会計監査が適正に行われているか	7.1	6.7	7.0		江田	6.5	
財務情報公開の体制整備はできているか	7.3	7.0	7.2		大月	6.0	
					常国	6.0	
				溝尾	7.5		
				計	37.5		

(9) 法令遵守

評 価 項 目				旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか				8.1	7.4	8.0	7.8	長谷川	8.0	7.9
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか				8.1	7.2	7.9		岡崎	8.0	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか				7.3	6.9	7.2		江田	8.0	
自己評価結果を公開しているか				8.1	7.9	8.0		大月	8.0	
								常国	8.0	
							溝尾	7.5		
							計	47.5		

(10) 社会貢献

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.8	8.2	7.9	8.0	長谷川	9.0	8.2
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.3	8.2	8.3		岡崎	8.0	
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	7.6	9.0	7.9		江田	8.2	
					大月	8.0	
				常国	8.0		
				溝尾	8.0		
					計	49.2	

(11) 旭川荘との連携

評 価 項 目	旭川	吉井川	全体	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
行事等においてお互い協力できたか	7.9	8.7	8.0	7.7	長谷川	8.0	7.7
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.5	8.1		岡崎	7.5	
人事交流を行っているか	7.4	8.0	7.5		江田	7.8	
旭川荘への就職希望者はいるか	7.1	7.7	7.2		大月	7.0	
					常国	8.0	
				溝尾	8.0		
					計	46.3	

【評価委員の意見】

(評価委員 A) - 旭川荘の歴史やブランドを大切にしたい取組を進めてほしい。 - 今年から、学院の認知度や魅力アップのために外部コンサルタントを導入したことで、先生方の意識も変化されているように感じました。 - 学院案内には学生の生き生きとした姿が載っており、高校生はこの学校案内を見て「魅力ある活動や学生の姿」に注目するので、これらの姿、情報は大切だと思っている。 - 県外からの学生の減少による影響も大きいことが分かりました。 - やはり一番のポイントは、「学生の満足度」であると思いました。入学前、入学後、卒業時など、アンケート等で学生の生の声を聞いて、課題を把握し、できることから対応していくのが近道だと思います。 - コロナが5類に移行し、社会貢献、地域との交流が活発になっており、学院の知名度アップにつながると思います。 - 外部の者から見ると、旭川荘に就職できるというのは大きなメリットになると思います。進路保障の面で学院生の希望が優先されるようになるといいですね。
--

(評価委員 B)

- ・学校現場の努力は大変だと思っています。学生と社会人の両面で募集を考えてはどうか。
- ・入学者が募集定員の50%を切る状況は厳しいが、一般の大学も興味を引く内容をSNS等で発信している。テレビ局や報道に働きかけて、ニュースとして取り上げてもらうような工夫ができないか。外部の人も参加できる体験活動(プログラム)を年1回位実施してアピールするのも効果的と思う。
- ・コンサルタントの効果を検証してほしい。現実(地方)とのギャップがあるような感じがしました。
- ・教育環境の整備も大切だ。清掃業者を入れるなど、予算内でできることから取り組んでほしい。後援会の資金が使えるなら活用してほしい。

(評価委員 C)

・教職員の皆様が、伝統ある学院を何とか存続させていきたいと、いろいろ工夫され、強い思いを持たれて、学生募集や財政の立て直しに取り組んでおられる様子をうかがうことができました。しかし、少子化という時代の流れから考えるとなかなか厳しい面があることは否めません。また、時代的に個人志向の流れが強くなり、世の中のため、困っている人の手助けをしたいという思いやりの心や、福祉の心を持つ人が少なくなってきたように思います。そういった時代背景の中で、乳幼児や障害の人、病気の人や、高齢者の人を相手にする大変な仕事をあえて選ぶ人は多くはいないと思います。好きだという気持ちや、使命感がなければできない仕事だと思います。この仕事につきたいと思って、何の苦労もなく育った学生が資格を取るために、進んで学院を選ぶとは思えません。

しかし、卒業生は卒業する時、来て良かったと言って卒業しています。それは何故でしょう。学生を大事にする教職員の方達の心。それこそが学院の良さであると思います。大変だけど人のために尽くすことに喜びを感じる経験をする機会があれば、学生の心は変わってくると思います。学院に入学してきた学生は、学院で人から頼りにされているという経験をする中で、やりがいを感じ、存在感を感じることができて、学院に来てよかったと思って卒業していると思います。その力が、社会に貢献できる人材へと成長していることに繋がっていると思います。

ですから、入学前に、そのように変わっていった卒業生の体験を聞く交流の場を作ることが学生増に繋がると思います。学院の教育理念・目的を前面に出す取り組みを期待しています。

- ・学生が交流できる場所がない。フロアーの環境も整えられたら良いと思う。
- ・学生寮に寮母さんをおくことができれば、生活環境整備の上でも、メンタル面からも効果が高いと思う。

(評価委員 D)

- ・医療福祉の原点である命、人への尊厳を福祉施設実習での“人 対 人”のかかわりから深く学ぶことができる強みとし、学校運営を再構築していただきたいです。
- ・旭川荘との連携強化を今一度推進してもらいたい。
- ・アルバイトに来てくれる学生を見ても、ひとりひとりの個性・多様性が広がったと感じている。「学び方が分からない学生が増えた」という話を聞くと、想像がつく。
- ・学院出身者には「人を大切に」という心情が定着しており、急性期の病院等で経験を積んだ後に旭川荘に帰ってきてくれる人が少なくないことをうれしく思っている。
- ・今後、現場では看護師確保が一層厳しくなってくる。学院でも、社会人のリスタートを応援する体制をつくり「リスタート支援」をアピールしてはどうか。入学者のターゲットを新卒から社会人にむける必要もある。

(評価委員 E)

・個別対応が必要な学生多くなっていることで、先生方の負荷が非常に高まっているのではないかと考えます。間接業務を整理したり、無くす事で負担を減らし、安定して働くことが出来る環境を作るべきです。この課題を解決するためには生産性の向上だけでなく、コアになる業務を基に仕分けを行ったり、ICTの活用を工夫したりすることが必要と考える。

(評価委員 F)

・私は社会人として入学したが、20代の学生も素直な子が多かった。旭川荘の雰囲気、先生方の雰囲気が良かった。在学中は一人一人大事に向き合ってくれている姿勢を感じた。この学園の良さがいろいろなところで伝わるのであればと改めて思いました。